

音更町における 地産地消の実態と課題

札幌学院大学経済学部経済学科3年
佐々木ゼミナール

荒木陸・石井聖大・内澤裕太・大塚崇史
齊藤翼・四戸健太郎(おおそでくん)・山岸龍哉

1,はじめに—北海道農業の可能性

2,音更町の農業特性と農産物

3,音更町の食と農をつなげた取組み

4,地産地消の可能性

5,おわりに—政策提言について

1. はじめに

～北海道農業の可能性～

○北海道の農業形態

水田

畑作

酪農

規模拡大
コスト削減農業

道外移出
付加価値の流出

輸入自由化
収入の停滞

これからの北海道農業をもっと発展させていくためには…

⇒農産物を道外移出する農業と同時に

地産地消型の農業を作り出す！

○大規模農業地帯での地産地消の必要性

北海道

単に地元でとれた農産物を
地元で消費するだけではない！

業によって

消費者と生産者
の信頼構築
(下平尾, 2009)

食の安心・安全食
の関心の向上
(三島, 2003)

学校給食による
食育の推進
(内藤ほか, 2010)

生産者の所得向上と地域内での資金循環、加工企業
による地場農産物の付加価値化など…

地域経済の活性化の方法
として注目されている！！

○地域経済の中の農業

域内需要への対応は
これまで考えなくてもやってこれた

大規
農業

大規模農業地帯でも
地産地消をやる意味はある！！

とで

○音更町では…

音更町第1次食育・
地産地消促進計画

食のモデル地域
実行協議会

地産地消の取組みを推進している！

○対象地域：「**音更町**」

目的

音更町では地産地消におき、どのような取組が行われているか実態を検討し、地産地消の実現可能性の有無について考察する。

方法

学校給食の取組、食品加工企業の地場産品取扱、消費者アンケート結果から検討する。

2.音更町の 農業特性と農産物

音更町の概要

- ・面積: 46,609 km²
- ・人口: 45,432人
- ・世帯数: 19,732世帯

(平成26年10月末現在)

気象条件: 夏と冬の寒暖差が大きい、降水量が少ない、晴天日数が多い

観光地: 十勝川温泉、十勝が丘展望台など

帯広市のベッドタウン
⇒人口が増加傾向にある

産業別就業人口の割合

⇒ **1次: 13.1%**、2次: 19.5%、3次: 65.0%

音更町農業の特徴

大規模農業

畑作4品目が中心

小麦

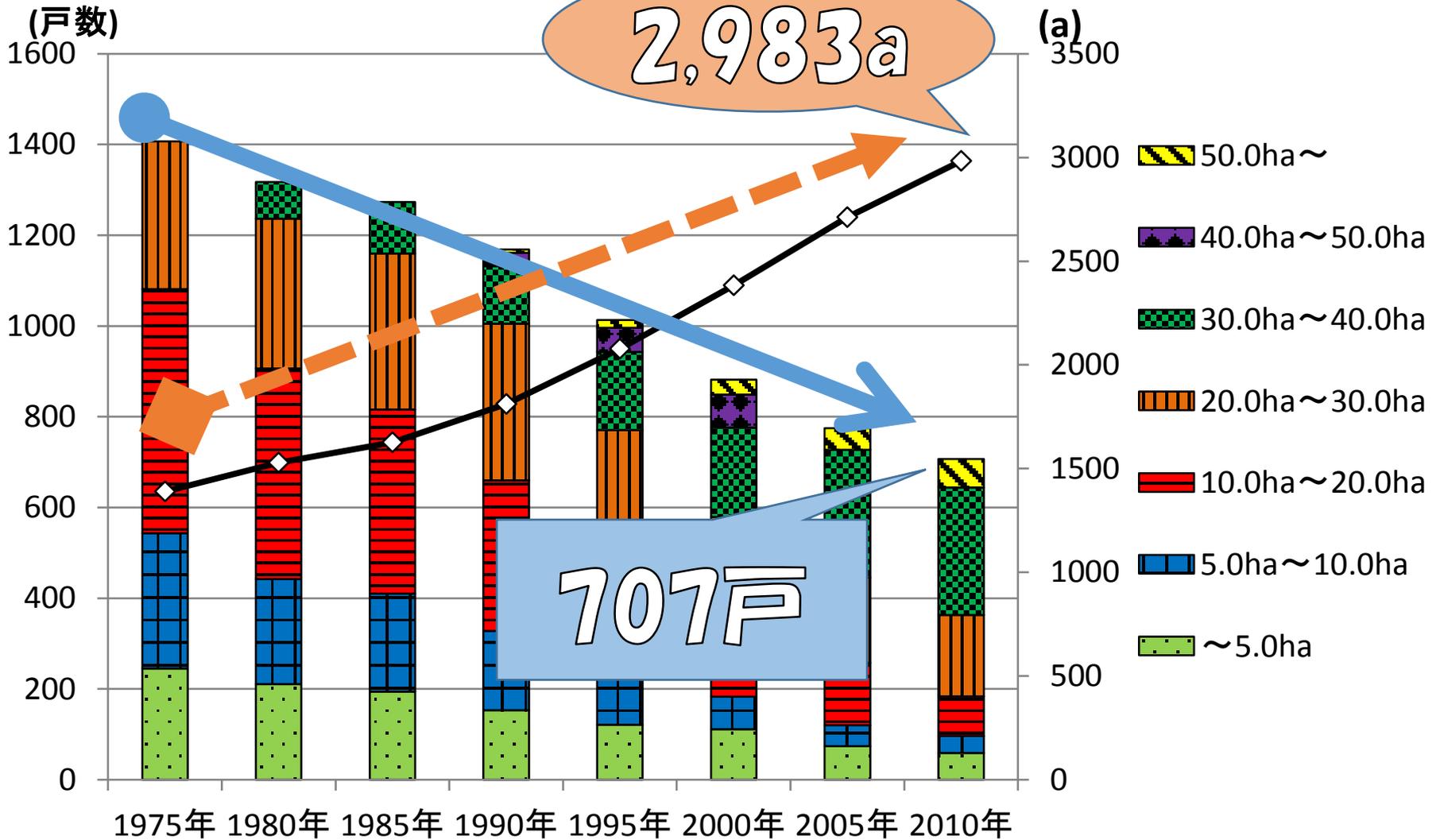
てん菜

馬鈴しょ

豆類

野菜の生産量
増加傾向

規模拡大の動向



音更町農業の位置づけ

北海道市町村別品目別作付面積(上位10市町村) 平成24年度

	小麦	大豆	馬鈴しょ	てん菜	にんじん	小豆
1位	音更町	長沼町	帯広市	北見市	音更町	音更町
2位	帯広市	士別市	芽室町	帯広市	南富良野町	芽室町
3位	芽室町	音更町	網走市	帯広市	幕別町	帯広市
4位	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	幕別町
5位	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市
6位	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	清水町
7位	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	上幌町
8位	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	更別町
9位	清水町	帯広市	帯広市	帯広市	帯広市	豊頃町
10位	網走市	由利町	音更町	京極町	京極町	倶知安町
上位10市町村 作付面積(ha)	49,080	11,000	25,650	29,930	3,361	12,010
上位10市町村 シェア(%)	49.1%	11.0%	25.7%	29.9%	3.4%	49.2%
上位10市町村 収穫量(t)	262,000	11,000	25,650	29,930	3,361	34,920
上位10市町村 シェア(%)	49.1%	11.0%	50.9%	50.9%	64.9%	55.4%

**小麦、にんじん、小豆
⇒日本1位!!**

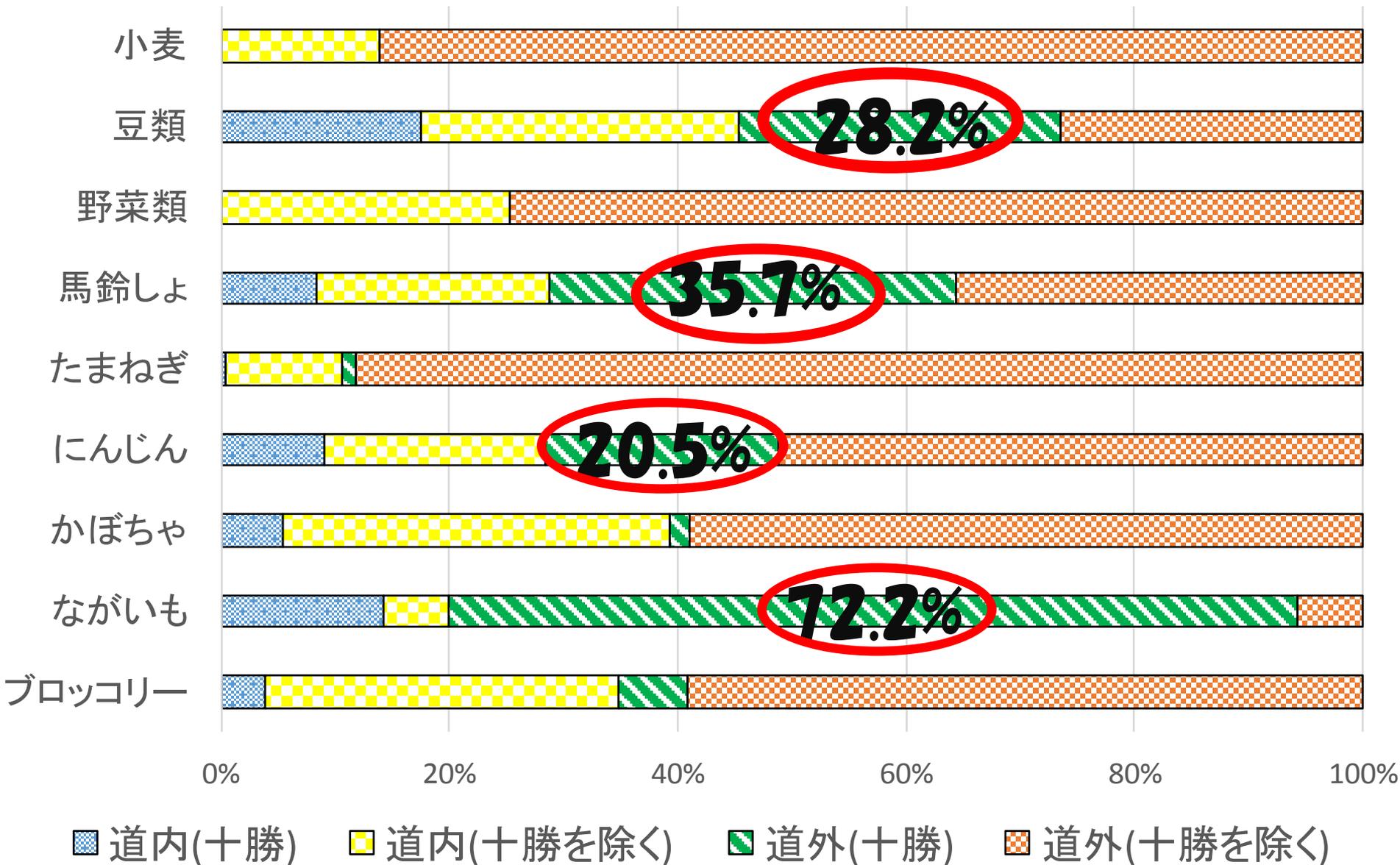
**食料自給率
1014%!!**

※緑は十勝地方

資料:北海道農政事務所

北海道・十勝の品目別出荷先

(%)



十勝地方では…

- 畑作農産物 = 政府管掌作物 & 原料農産物
- 野菜生産者
- 道外移出している

つまみ…

- 音更町の生産量が
高く、よりの流出している
可能性が高い!!

音更町の農業は道外移出メインであるため
農産物や食が地元身近なものとなっていない

そこで

音更町役場では産業連携課を
中心に**地産地消**を
推進しようとしている

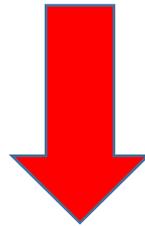
3. 地産地消の実態

~学校給食、大豆加工企業を事例として~

1) 音更町の学校給食

自校方式学校給食が採用されている

原材料には音更町のものが優先して使われる

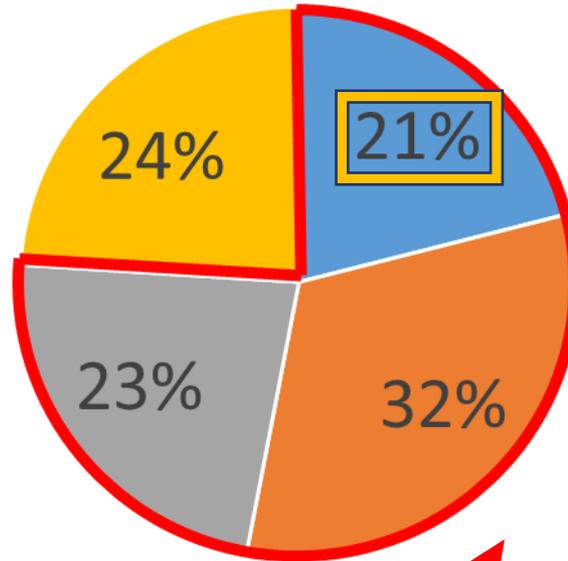


地産地消の実践は
どのくらい展開されているのか

学校給食の地場産利用割合

種類別統計

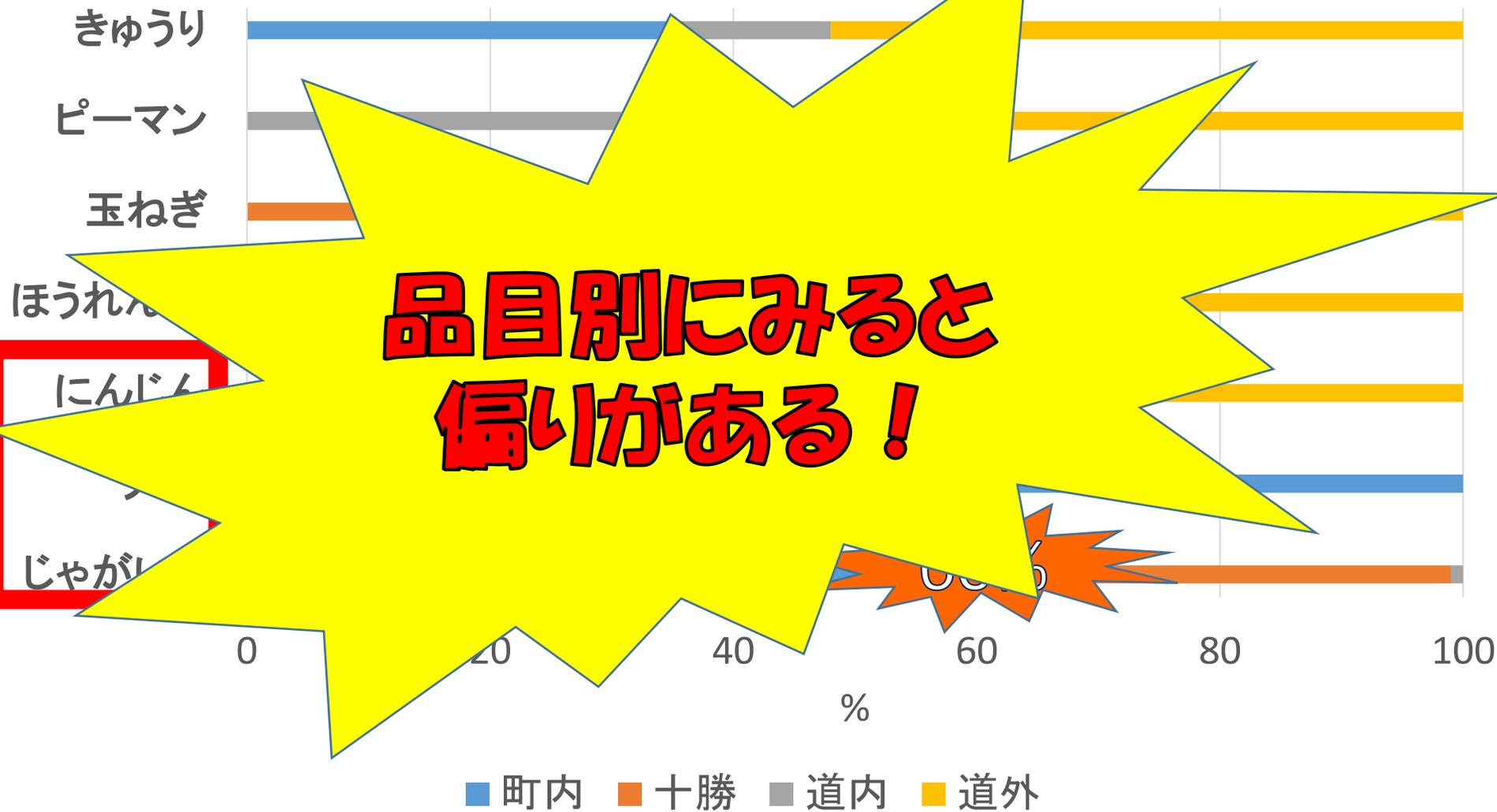
道内まで含めると
76%使われている
が、町内産の使用
率は21%である



- 町内
- 管内
- 道内
- 道外

町内産の使用率
は高くない

品目別にみた地場産利用割合



音更産の使用量が少ない要因

○広域流通を前提とした農産物生産

音更町の農産物のほとんどは農協に出荷される
農協は広域流通を前提としている集出荷



音更町内で地場産を購入するルートがない

○一食当たり231円での食材調達

安定的に食材の確保ができない
価格でおい合いがつかない



価格、量の面で音更産を使用できるものには限りがある

2) ブランド化が期待される 音更大袖振大豆

収穫した大袖振大豆を選別

音更町のブランド大豆として
期待されている



おおそでくん

音更産大豆の作付面積は1,450ha
うち300haが音更大袖振大豆、生産量は589t

青みがかかっている 栄養価が高く、甘い

どのように活用されているか？



岩塚製菓
株式会社



千歳にある工場で
使用されている

岩塚製菓HPから転載
(豆もち画像)

3) 音更町の大豆加工企業

音更町の加工企業も
地産地消の重要な主体

しかし農産物は
道外移出がメイン！
そこで…

ブランド化が期待される大豆に注目し
音更町の加工企業を調査！

加工企業へのヒアリング調査

音更町内で五つの加工企業を調査

いずれの企業も大豆の加工をしている

すべて中小規模の経営

番号

1

2

3

S豆腐店

豆腐にこだわりを持って経営している

J食品

集荷団体の管轄下で経営している

商品は音更で販売されるほか、道内の卸売にも出荷される

地場産にこだわりがあるか

ある

ない

ない

山食品

K園

福祉施設の新規事業として納豆製造業を取り入れている
2011年の全国納豆鑑評会において北海道知事賞を受賞した

新規商品の開発

地場産を取り扱っているか

ない

いる

地場産にこだわりがあるか

ない

ある

音更産の大豆にこだわらない理由をまとめると…

コストが高く売り上げにつながらない

町内で確保できる大豆の数量が少ない

製造の目的に適した大豆の性質がある



音更町のみでの経営は難しい

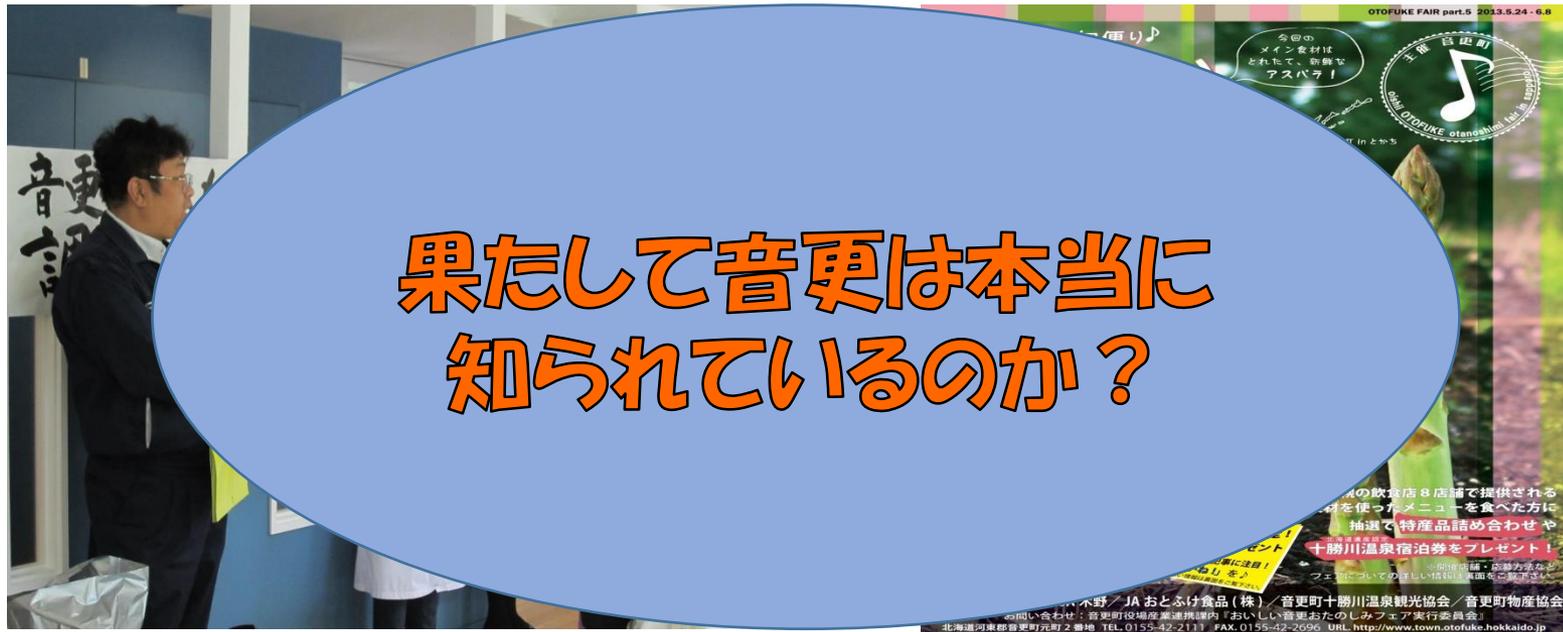
4. 音更町における 地産地消の可能性

「平成25年度活動内容一覧」

4月	5月	6月	7月
<ul style="list-style-type: none"> ● おいしいおとふけ おたのしみフェア in札幌 	<ul style="list-style-type: none"> ● おはよう青空市 5月～10月まで ● ふれあい交流館での食品加工教室 ● ふれあい農園 	<ul style="list-style-type: none"> ● グリーン・ツーリズムにおける農家民泊 ● 食品加工教室 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音更町老人運動会 ● 食品加工教室 ● 新・ご当地グルメグランプリ北海道 2013in十勝芽室
8月	9月	10月	11月
<ul style="list-style-type: none"> ● 更葉園ふれあいまつり ● 食品加工教室 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品加工教室 ● 農家民泊 ● おいしいとかちうま いっしょフェア ● さっぽろオータムフェスト2013 	<ul style="list-style-type: none"> ● THEおとふけ製家庭料理コンテスト2013 ● たのしく食べて、楽しく知ろう～音更の食育と地産地消～ ● 地産地SHOW みのりーむフェスタおとふけ2013 ● 農家民泊 ● おいしいおとふけおたのしみフェアin札幌 ● 食フェスタinかるまい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道の駅おとふけ感謝セール ● 食品加工教室 ● オールとかち大収穫祭
12月	1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ● なし 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品加工教室 	<ul style="list-style-type: none"> ● 畑の案内人を目指そう！フォーラム ● 食品加工教室 ● おとふけ食のフォーラム ● JA茨木市 農産物直売所「みしま館」物産交流展 	<ul style="list-style-type: none"> ● 十勝川白鳥祭り「彩凜華」で「おおそでくん」を活用したPR活動 ● 健康料理教室 ● ポールスター札幌での物産展

域内向けのイベント 域外向けのイベント

域内外での情報発信の取り組み



域内

域外

大学祭での野菜販売

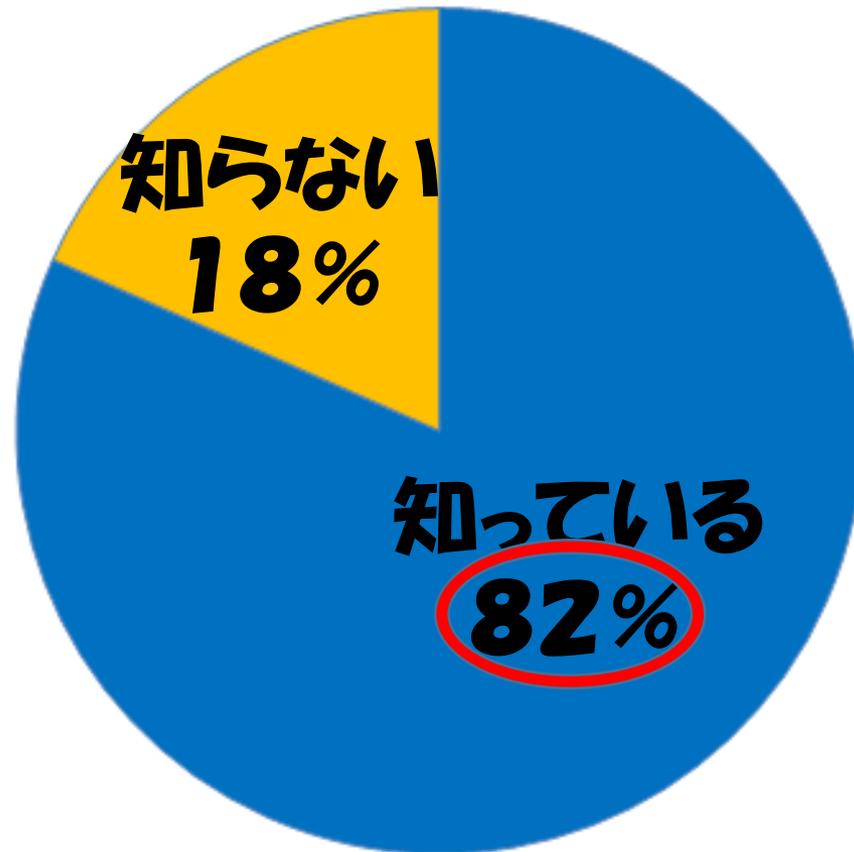
やっぱい
知られてない！（泣）

- ・情報発信の仕方が悪い
- ・活動内容が伝わりづらい

「音更町」認知度調査アンケートの概要

- 調査期間：平成26年11月7日
～11月14日
- 調査方法：留置調査法
- 聴き取り対象：ゼミナールの家族
知り合いなど
- 有効回答数：49人

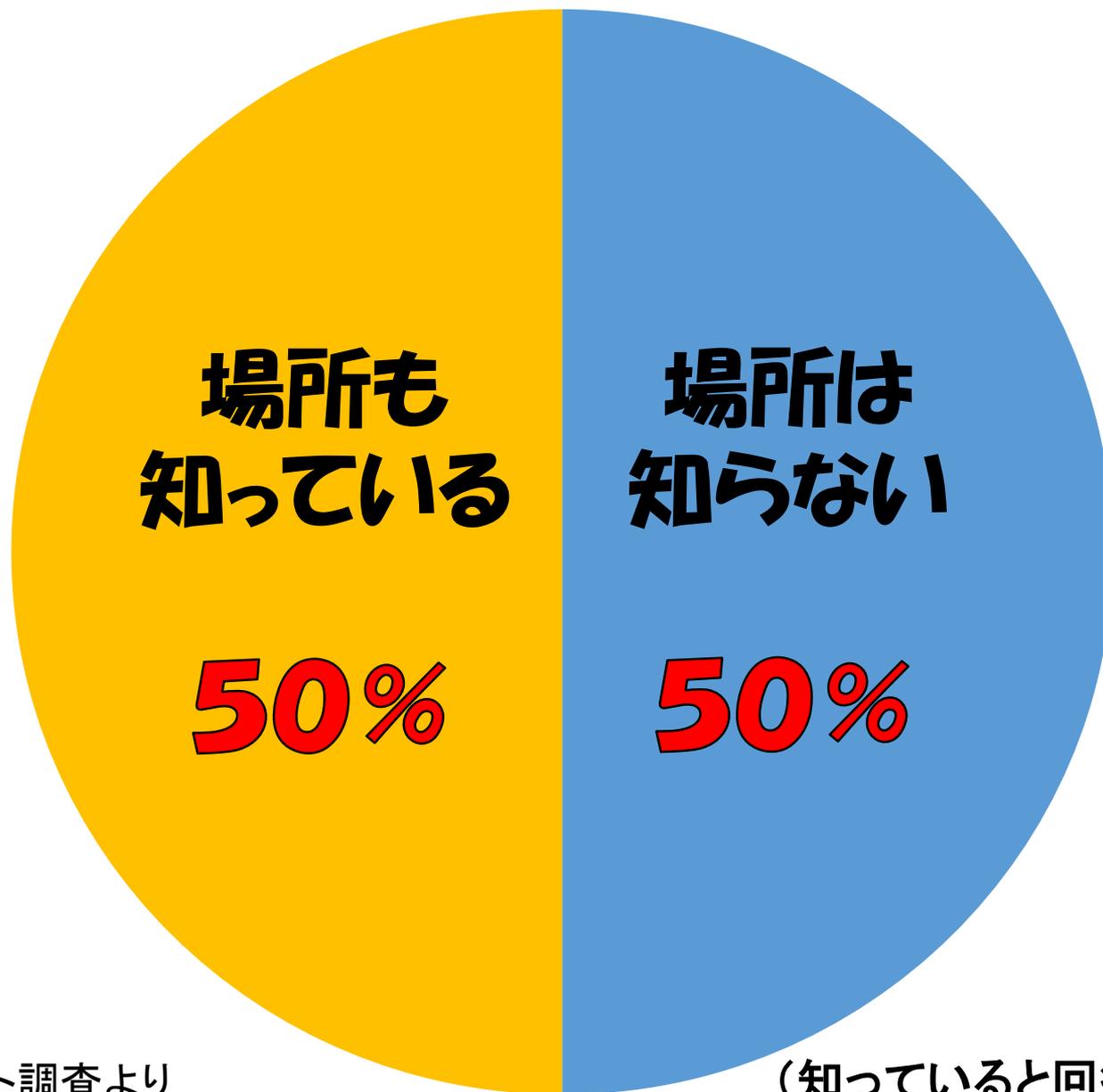
「音更町」の認知度 その1



資料: アンケート調査より

(回答該当者: 49人)

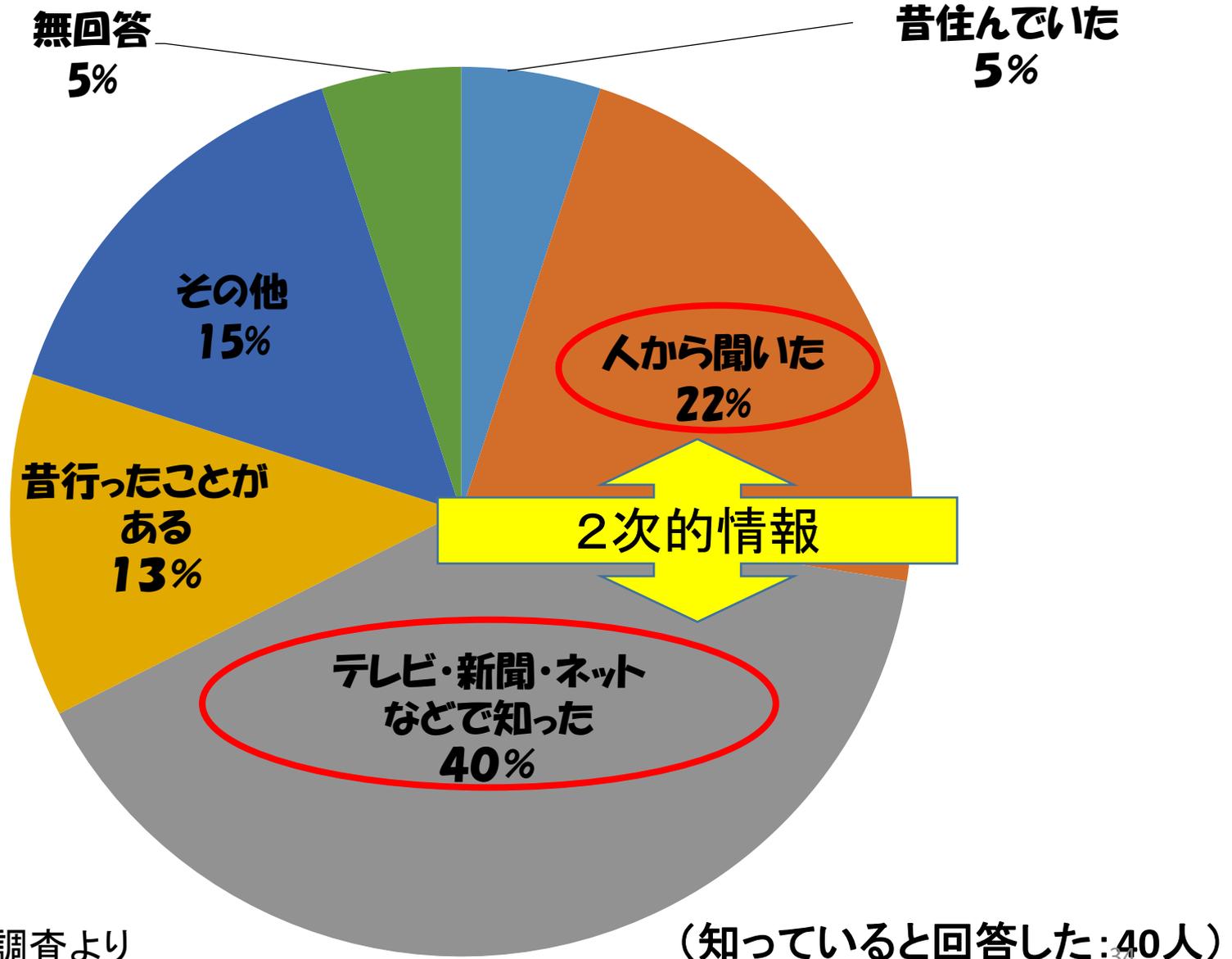
「音更町」の認知度 その2



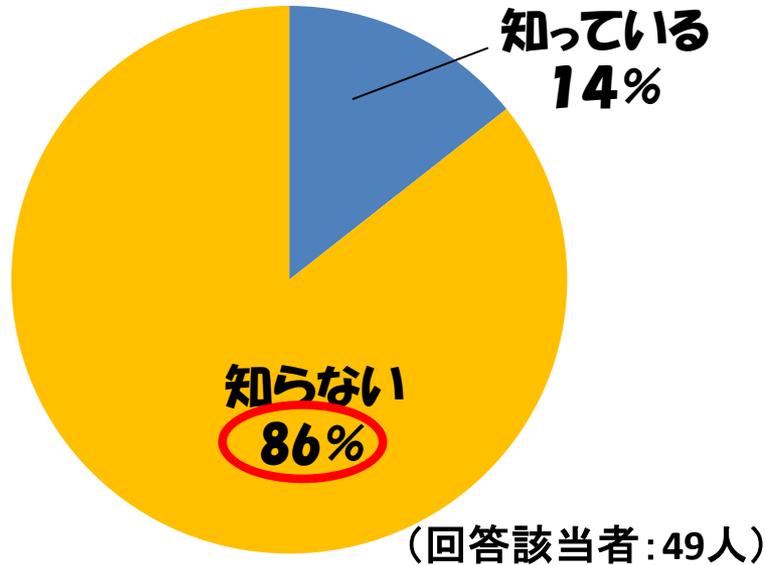
資料: アンケート調査より

(知っていると回答した: 40人)

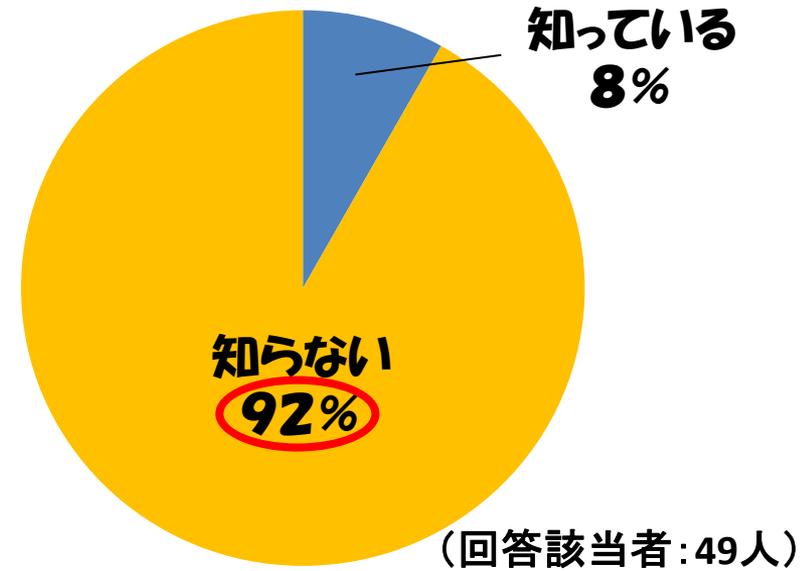
「音更町」の認知度 その3



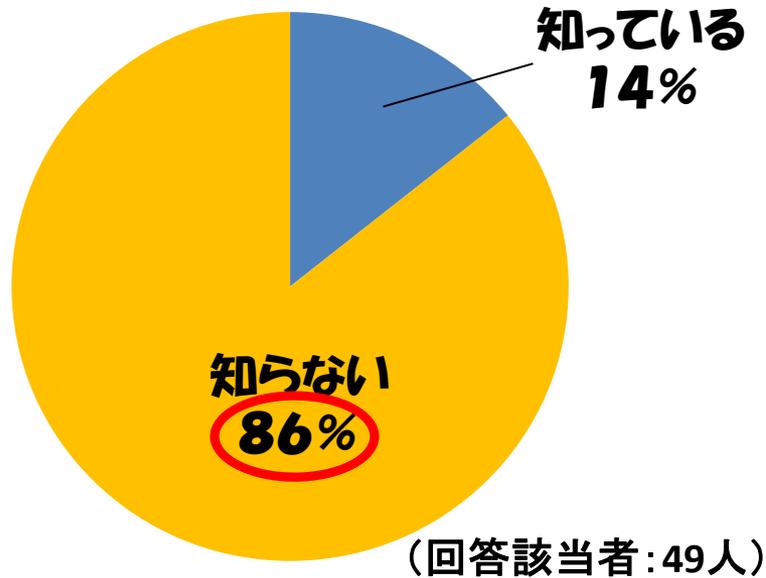
「日本一の小麦産地」



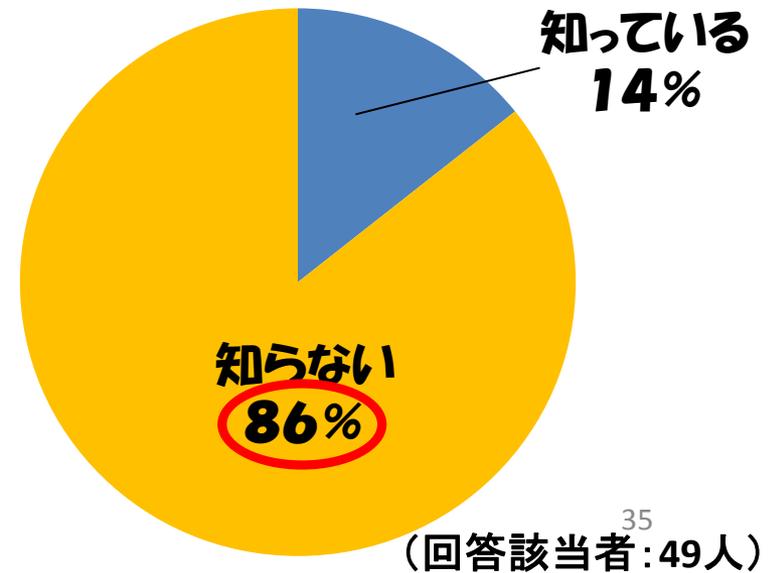
「日本一の人参産地」



「日本一の小豆産地」



「音更大振袖大豆」の認知度



認知度アンケートの結果

・「音更町」のことは知っている

しかし…

音更町の農業や特産品の
音更大振袖大豆などについては
知らない！

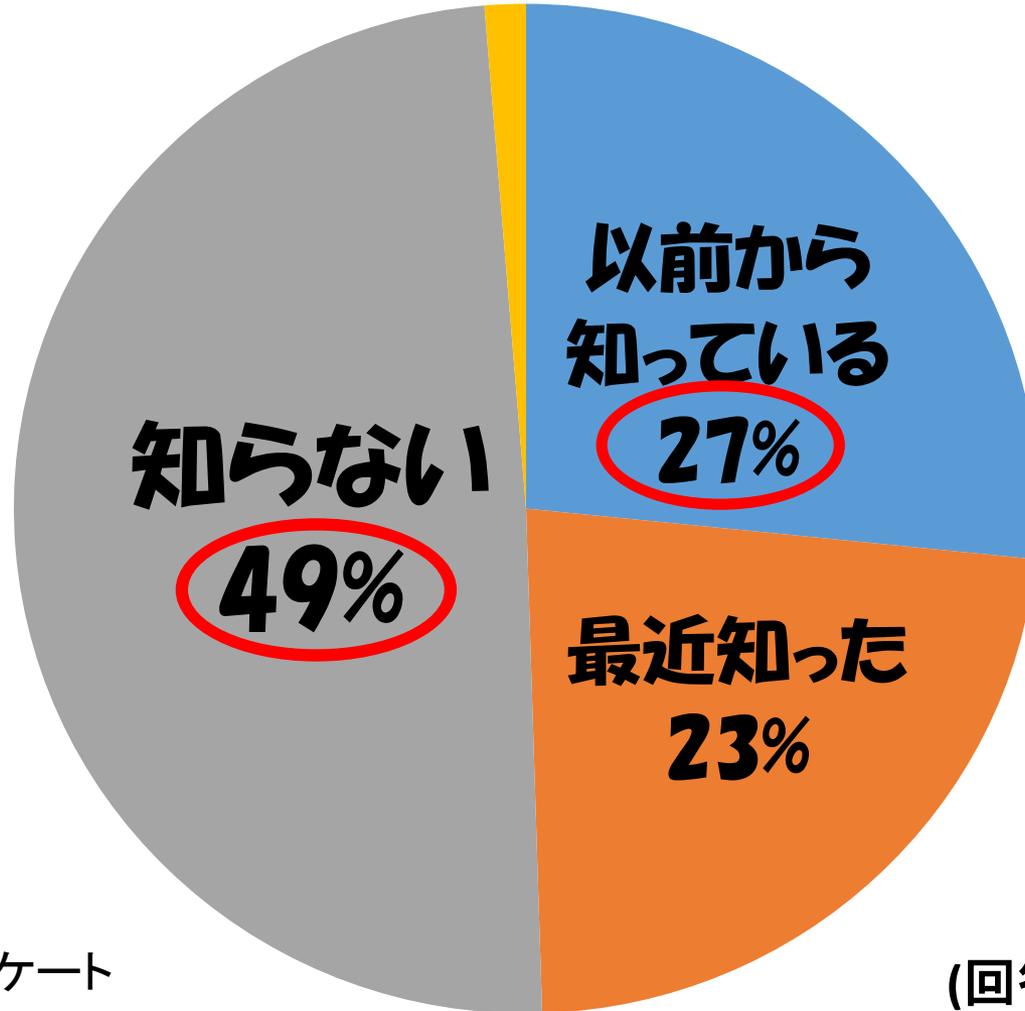
音更町民アンケート調査の概要

- 調査期間：平成25年11月25日
～12月8日
- 調査方法：層化無作為抽出法，郵送回収
- 配布対象：音更町民1,000人
- 有効回答数：380件・有効回答数38.0%
(2014年2月20日時点)

「日本一の人参産地」

無回答

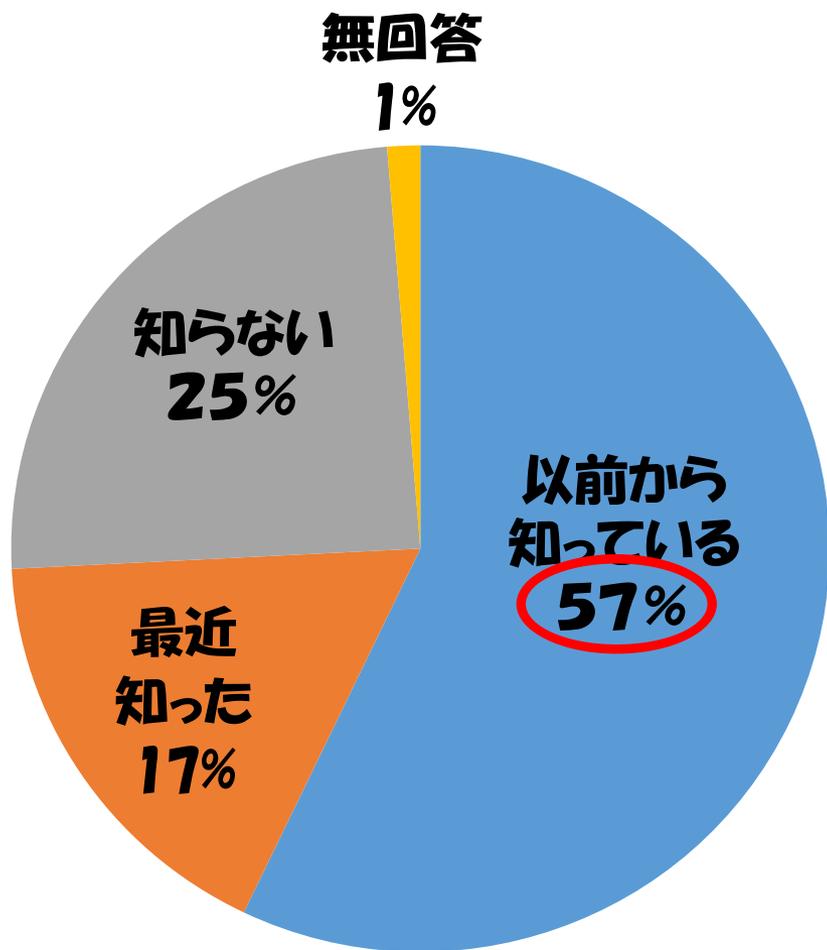
1%



資料: 音更町民アンケート

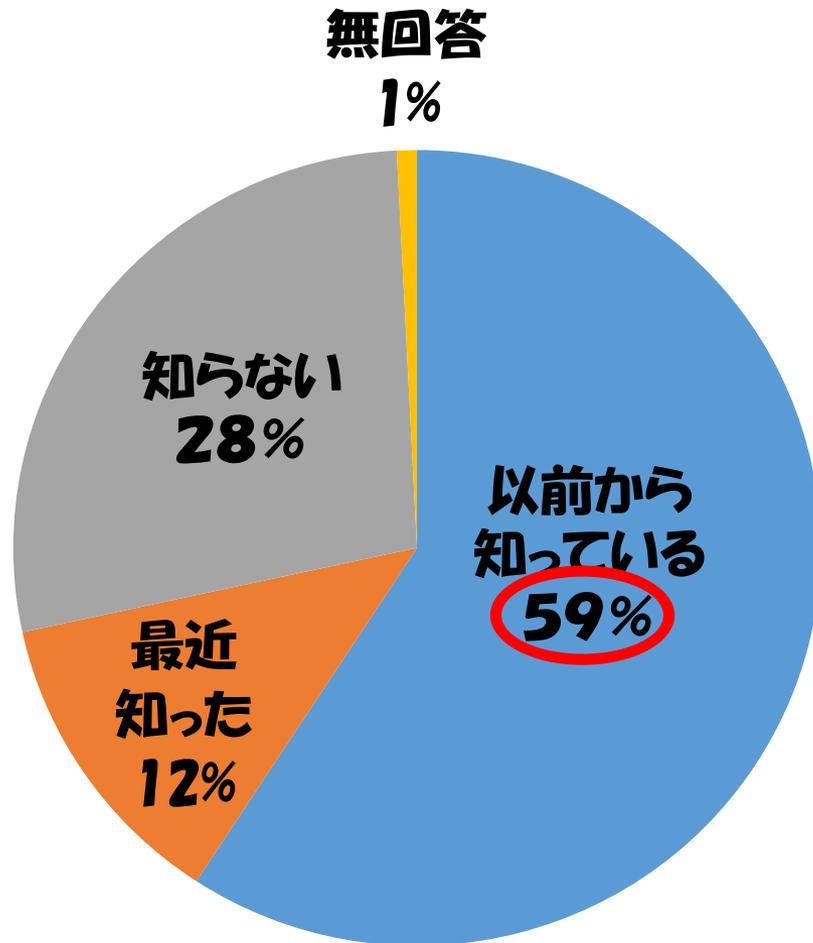
(回答該当者: 380人)

「日本一の小麦産地」



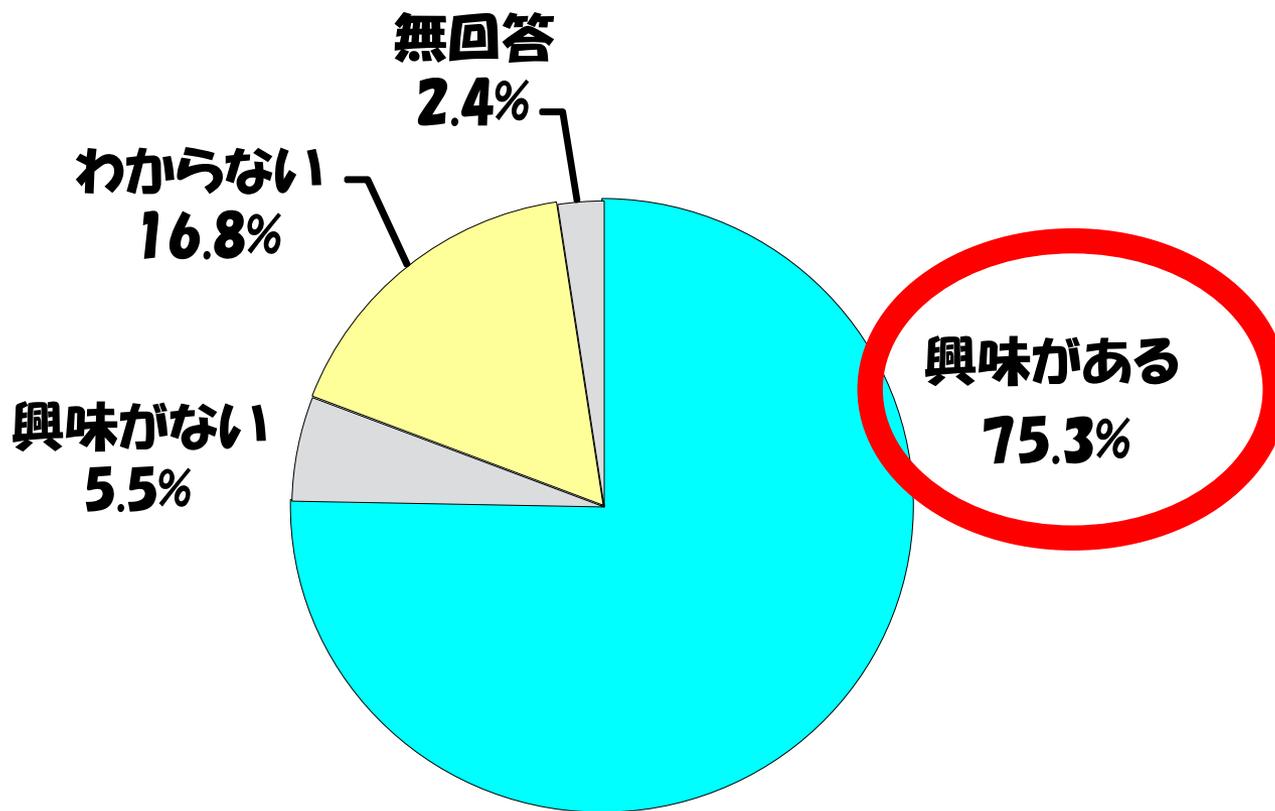
(回答該当者:380人)

「日本一の小豆産地」



(回答該当者:380人)

地産地消への関心度



(回答該当者: 380 人)

地産地消の取り組みへの興味

地産地消の魅力

身近な農産物は新鮮であり、安心感がある

地元農産物の利活用を通じて地域農業の活性化につながる

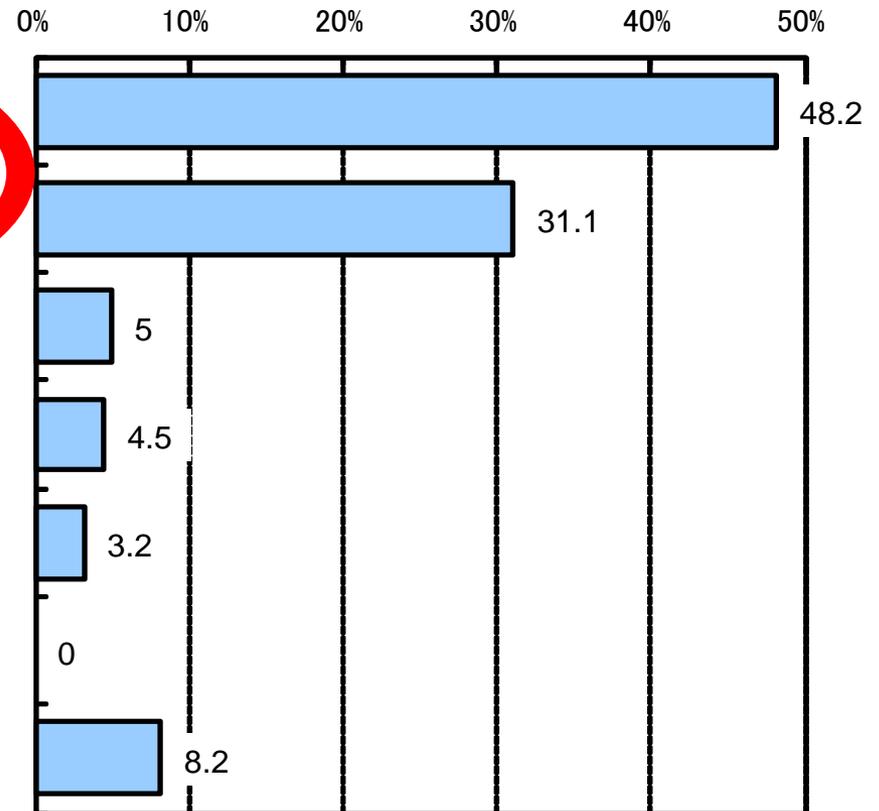
顔の見える関係が生まれ、安全な農産物を手に入れる

農業や食文化に対する理解が深まる

生産者と消費者との交流ができる

その他

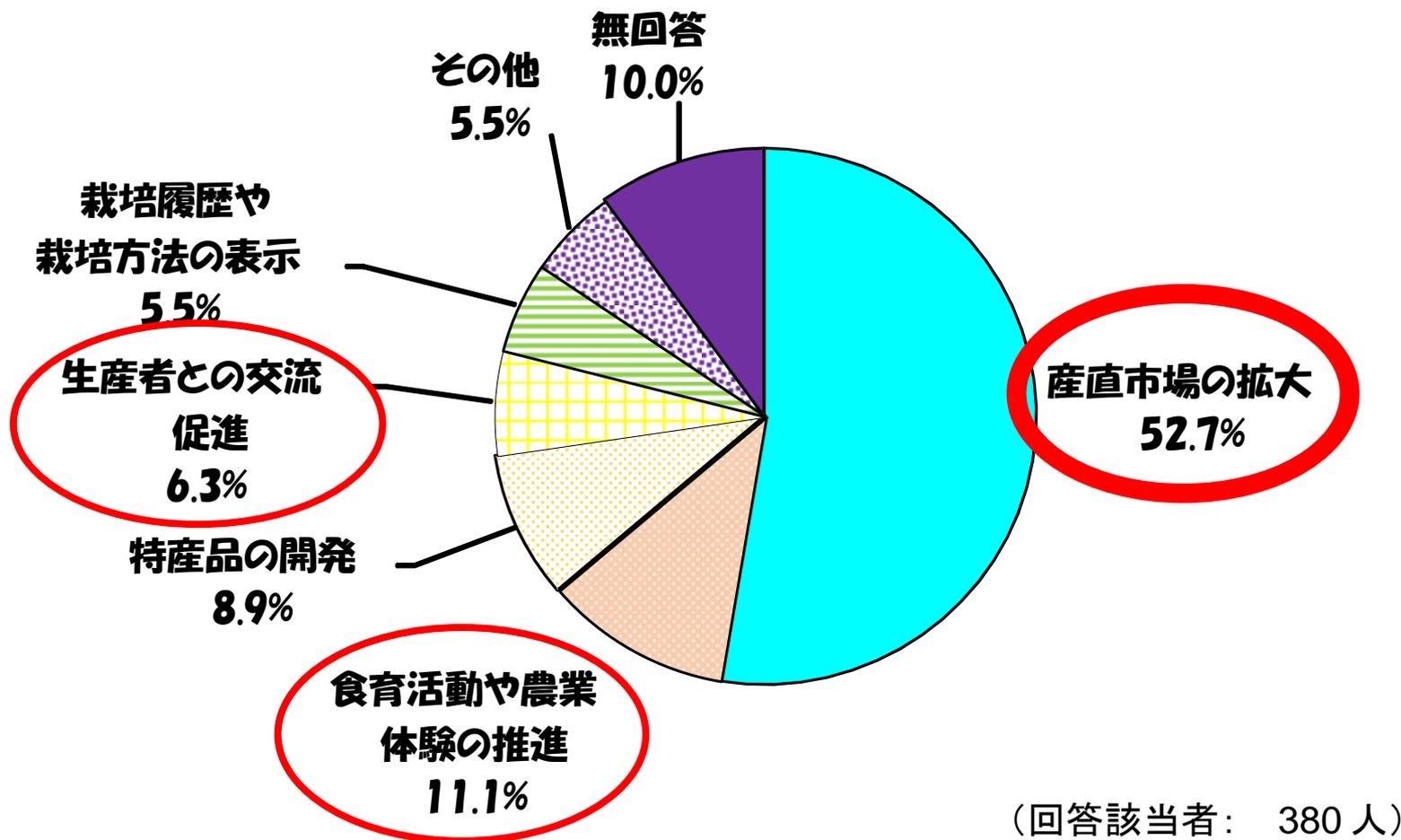
無回答



(回答該当者: 376 人)

問 地産地消の魅力と考えられるもの

地域住民の食と農への関心



音更町の食や農への関心を持ってもらうために必要なこと

5.おわりに ～政策提言にかえて～

音更町の課題

**生産者と消費者の
距離が遠い**

**情報発信や魅力が
うまく伝わっていない**

**地場産品を使用する
メリットがない**

課題を克服するためには

生産者の負担を減らす

音更町

ふるさと

御膳条例

消費税率の引き上げ

加工企業は地域産品を利用・販売

と御膳多

豊かな
市民生活

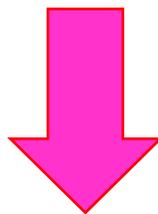
音更
ふるさと御膳

500円(税込)

音更町の未来像

地産地消で
地域経済の
活性化

交流人口の
増加による
認知度向上



今よりもより豊かに**HAPPY**に！

ご清聴

ありがとうございます

ございました！

佐々木ゼミ一同

参考文献

- 国勢調査22年
<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001037709&cycode=0>
- 北海道開発局
<http://www.hkd.mlit.go.jp/kanribu/chousa/kekka.html>
- 北海道農政事務所
<http://www.maff.go.jp/hokkaido/toukei/kikaku/sokuho/h26kouhyou.html>
- 音更町統計書
<http://www.town.otofuke.hokkaido.jp/town/outline/toukei/h25otofuketyoutoukeisyo.html>
- JA音更ホームページ
<http://www.ja-otofuke.jp/>
- 音更町ホームページ
<http://www.town.otofuke.hokkaido.jp/>
- JAタウン
<http://www.ja-town.com/shop/g/g1006-1596619036/>
- 岩塚製菓ホームページ
<http://www.iwatsuka.jp/oosode/>
- 更葉園ホームページ
<http://www.kouyouen-selp.jp/index.html>

参考文献

- 池本廣希著、『地産地消の経済学』, 2008年, 新泉社
- 江原絢子, 石川尚子, 東四柳祥子著、『日本食物史』, 2009年, 吉川弘文館
- 音更町『音更町第一次・食育地産地消促進計画』, 2013年
- 音更町食のモデル地域実行協議会, 『音更町における地産地消率に関する調査報告書』, 2014年
- 下平尾勲, 伊東維年, 柳井雅也著, 『地産地消：豊かで活力のある地域経済への道標』, 2009年, 日本評論社
- 内藤重之・佐藤伸, 『学校給食における地産地消と食育効果』, 2010年, 筑波書房
- 三島徳三著, 『地産地消が豊かで健康的な食生活をつくる』, 2003年, 筑波書房
- 農林業センサス各年次

北海道・十勝の品目別出荷先

(%)

